Rotary International District 2510

Rotary District 2510

GOVERNOR's Monthly Letter

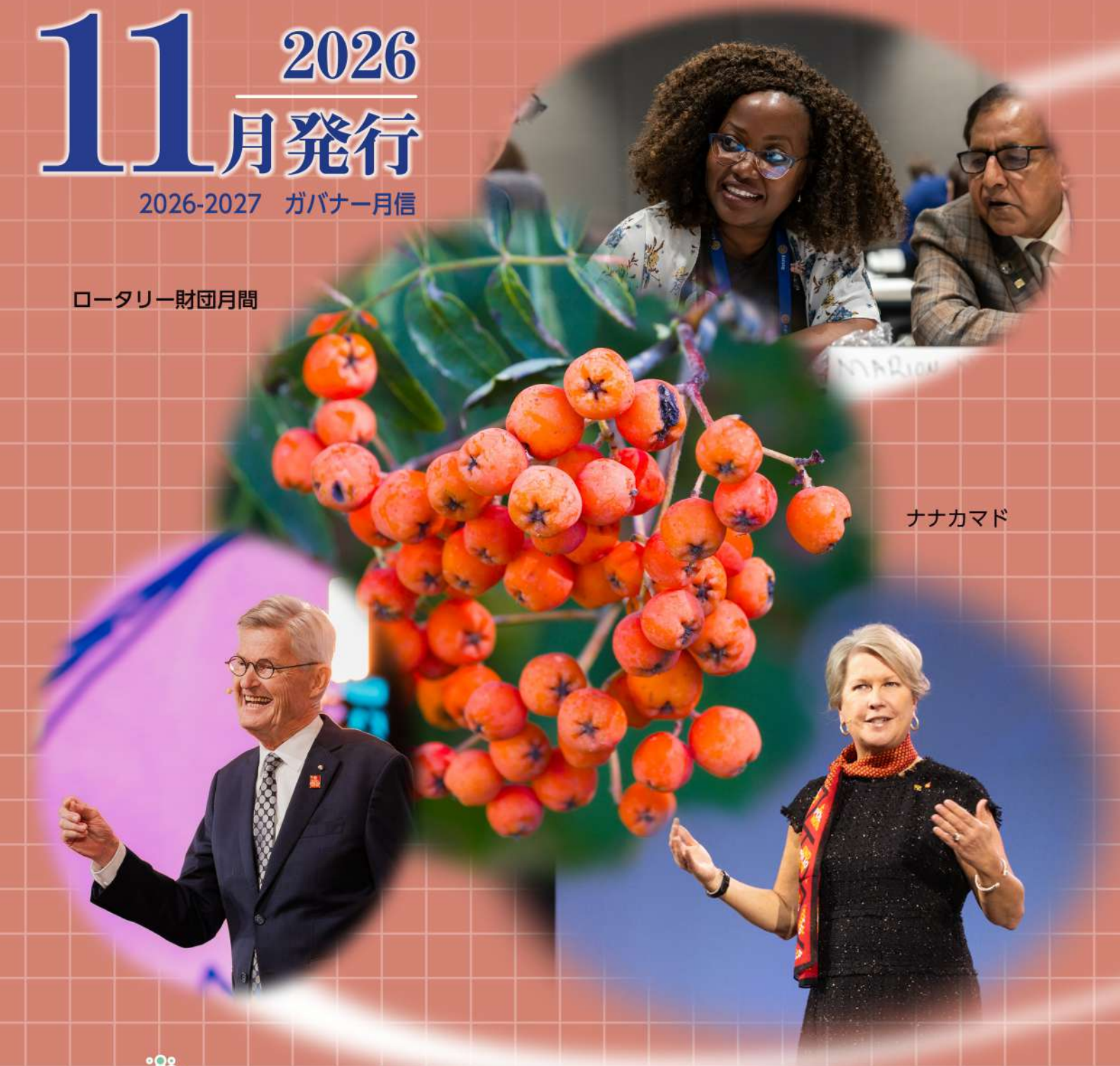
Volume 5

11月発行

2026

2026-2027　ガバナー月信

ロータリー財団月間



ナナカマド

北海道西部 RID2510

国際ロータリー第2510地区

2026-2027年度ガバナー 古野 重幸

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512　e-mail : rid2510@pxva.ne.jp　https://rid2510.org

2026-2027年度　第2510地区メッセージ
[Discover your joy in Rotary]



オラインカ・ハキーム・ババロラRI会長ご夫妻と古野重幸ガバナーご夫妻

ガバナー月信 vol.5（11月号）目次

ガバナーメッセージ	1
地区大会報告	2
ガバナー公式訪問報告	3〜12
地区ポリオプラス委員会報告	13
RLI委員会報告	14
米山研修旅行	15
米山奨学生紹介	16
米山記念奨学会寄付	16
ロータリー財団寄付	16
令和8年熊本地震義捐金報告	17
ロータリー文庫通信	17
新会員紹介	18
ガバナーノミニー候補者推薦のお願い	18
2027年バルセロナ国際大会のご案内	19・20
9月会員数・例会報告	21
地区カレンダー（11月・12月）	22
表紙について	23



ガバナーメッセージ

RLIに参加しよう

国際ロータリー第2510地区
2026-27年度ガバナー

古野 重幸
（札幌 RC）

RLIはROTARY LEADERSHIP INSTITUTEの略です。随分前に初めてRLIのことを耳にしたときには、全く関心がなく、何故元々リーダーの集まりのロータリークラブにリーダーシップ研修が必要なのと思いました。ノミニーになったときに、小山パストガバナーからRLIのテキストをいただき、「これを読めば今のロータリーがすべて分かるから」と言われましたが、訳文が今一つなこともあり（RLI以外でも最近RIのテキストを訳したものが使われていて、問いの意味がよく分からないケースがよくあります）、心地よく頭に入って来たとは正直言えませんでした。しかし、ガバナーエレクトになり、当時の平川香織地区RLI委員長から、とにかく一度実際の様子を見てほしいと言われ見学してみたら、RLIに対する考え方がすっかり変わったのです。

9月26日には初めて函館でRLIが開催されました。私は所用があり参加出来なかったので、次のような短いメッセージを参加するメンバーに送りました。

◇RLIでロータリーの基本を学べば、ロータリーをもっともっと楽しめる扉が開きます。
◇RLIでリーダーシップの基本を学べば、あなたのサポーターが倍増します。
◇RLIでクラブを超えた交流が深まれば、ロータリーの喜びが3倍にふくらみます。

「楽しくなければロータリーではない」―私のガバナーメッセージの中のこの部分だけが切り取られて、古野ガバナーはとにかくENJOY ROTARYが一番大事だと言っていると誤解されている面があります。私がクラブ会長（2018-19年度）を務めたときのスローガンは「ロータリーを知ろう」「ロータリーに参画しよう」「ロータリーを楽しもう」です。これはいわゆる3段活用で、ロータリーを正しく知れば知るほど、ロータリーに参画、交流すればするほど、ロータリーは楽しくなるという意味です。RLIでロータリーを知れば、ロータリーがもっと楽しくなるはずです。

リーダーシップの在り方も変わって来ました。会社の中での上司と部下や社員間においても上司の一方的な命令や社内ルールだけでは上手くコミュニケーションが機能しません。お互いに相手の考え方や意見を尊重することが一番大切。相手の話を聴く（耳）8割、自分の意見を話す（口）2割くらいのバランスがリーダーシップのポイント（私自身が最も苦手とするところですが）。ましてやロータリーは様々立場の違う人達の集まりです。RLIでリーダーシップを学べば、人間関係が円滑になり、あなたへの信頼支持が高まります。

RLIの素晴らしいところは、セッションの中で、またセミナー終了後の懇親会などで他クラブの会員と出会い交流が深まる点です。公式訪問でも皆さんに伝えていますが、自クラブの例会だけに自分を閉じ込めることなく、いろいろな機会を捉えて“外に出る”ことが、ロータリーが楽しくなる一番の道だと思います。

皆さん、積極的にRLIに参加して下さい。

地区大会報告

2026-2027年度地区大会　盛大に開催

第2510地区の地区大会が10月10日、11日、札幌RCをホストとして盛大に開催されました。登録会員数約1200人、来賓として三木明RI会長代理（姫路RC）ほか道外11地区の代表、本大会には鈴木直道北海道知事、秋元克広札幌市長が出席されました。

10日は札幌グランドホテルを会場に「会長・幹事会」「地区指導者育成セミナー」「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会＆大懇親会」。「会長・幹事会」では大会決議案上程の承認、大会選挙管理委員会からの報告の後、2025-2026年度決算とその監査報告を承認、大会登録委員会報告、大会信任状委員会の報告が行われました。

「地区指導者育成セミナー」は、「平和構築を考えてほしい」という古野重幸ガバナーの意向を受け、俳優・タレントのサヘル・ローズさんが「出会いこそ、生きる力」と題して講



演。体験に基づくお話に、涙を浮かべながら聴き入るロータリアンが大勢いました。続くパネルディスカッション「平和とは何か～未来への対話～」（パネリストは中川岳春JICA北海道所長、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・RI第2510地区グローバル奨学生の野元恵理さん、平和フェロー2期生で天理大学国際学部准教授の小松﨑利明さん、佐藤大河RI第2510地区ローターアクト代表。コーディネーターは出村知佳子第2510地区パストガバナー）。平和構築は一人ひとりの意識と行動が大切であることを再確認する機会でした。

地区指導者育成セミナーが予定通り午後5時に終了、午後6時半からはホテル内最大の宴会場に会場を移し、「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会＆大懇親会」（約350人）となりました。古野ガバナーと三木RI会長代理のスピーチのあと、齋藤茂生ガバナーエレクトの乾杯で開宴。会場は弦楽四重奏団の演奏で優雅に、さっぽろ名妓連の舞踊で華やぎ、タレントりんごちゃんの「ものまねLIVE」でにぎわい、という具合に〝多様性〟あふれる演出でした。ロータリアンも自由にテーブルを回り旧交を温めていたのが印象的でした。



2日目の11日、カナモトホール（札幌市中央区北1西1）を会場に、本会議、記念講演の日程でした。本会議では鈴木知事、秋元市長からの祝辞のあと、第1グループの深川RCを皮切りに65クラブが次々に紹介。スクリーンにクラブの写真と紹介文が投影され、壇上の会長と幹事の掛け声に合わせて客席で起立した会員が元気よく唱和。クラブの個性が垣間見える、楽しいクラブ紹介でした。

三木RI会長代理からRI現況報告、古野ガバナーから地区現況が報告されたのち、大会決議を採択。恒例の表彰は、前年度の功績を讃えるものであることから、古野ガバナーの英断で玉井清治直前ガバナーからの授与となり、壇上での記念撮影も行われ和やかな雰囲気の贈呈式でした。

基調講演は脳科学者茂木健一郎さんの「脳科学から見るAIの未来」と題した講演でした。「AI時代にこそ、生きがいを」という提案に、奉仕の精神が生きがいにつながることを再確認する機会でした。

2日間にわたる地区大会の前日には「記念ゴルフ大会（札幌ゴルフ倶楽部・輪厚コース）」、2日目午前には同伴者参加のスパウス（大倉山ジャンプ競技場、フレンチレストランでの昼食）もなごやかに開催されました。

（ガバナー月信編集部記）



ガバナー公式訪問例会報告

岩内ロータリークラブ　9/10(木)



古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、本多宏行第6グループガバナー補佐をお迎えし、9月10日、公式訪問例会を開催しました。

本年度は5名の新会員を迎え33名となり、岩城直人会長の「会員相互でリスペクト」を指針に活動しています。

会長・幹事懇談会では、教育委員会と共催する手作り絵本コンクール、練成会と年2回開催する漢字計算コンクール、ロータリー文庫への図書寄贈を紹介しました。会員の目標達成状況に応じてロータリー財団、米山記念奨学会への寄付につなげる独自のチャレンジプログラムも報告しました。

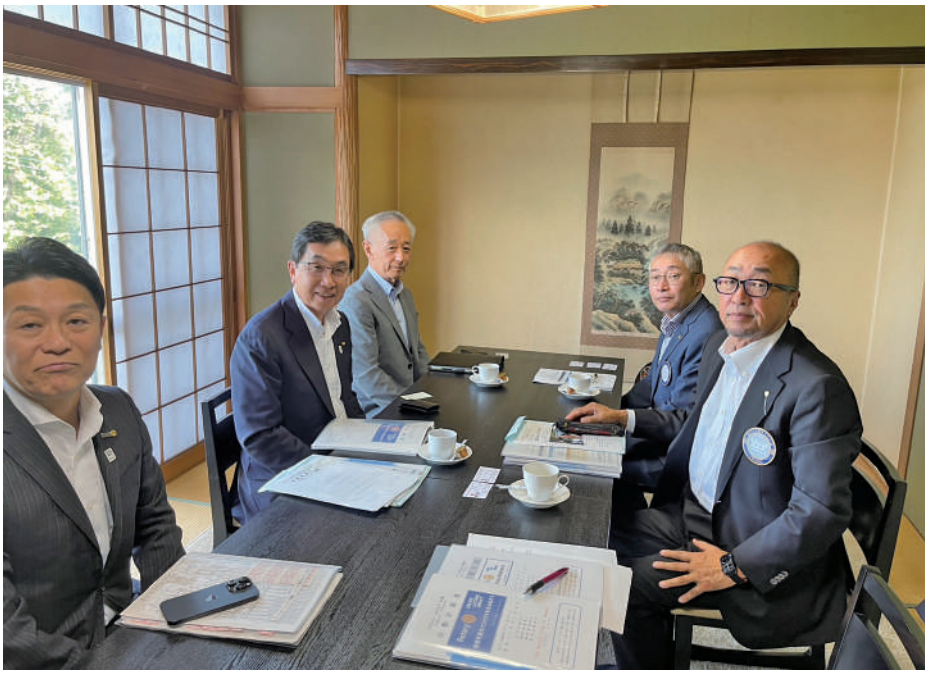
年1回の俳句・川柳・短歌コンテストや講師を招く卓話で研鑽を重ね、『ロータリーの友』にも作品がたびたび掲載されています。(注:「ロータリーの友」11月号に山本会員の川柳が掲載されています)

LINEによる出欠・資料共有に加え、当日はニコニコボックスのメッセージ受付のデジタル化を試行しました。

一山本関の後援会長を務める岩城会長と、相撲好きのガバナーとの談議にも花が咲き、例会では小西会員提供の新米を味わいました。

古野ガバナーのご講話からは、理念を守りながら運営を改善し、会員が楽しく参加できるクラブをつくる大切さを学びました。不満を水にたとえた「コップ」のお話では、楽しさや学びで水位を下げ、クラブ外の交流でコップ自体を大きくすることをご教示いただきました。親睦から奉仕の理想が生まれると語り、ロータリーを知り、参画し、楽しむことを呼びかけられました。

岩城会長も風通しのよいクラブづくりへの思いを述べました。ご来訪に感謝し、親睦を礎に地域に根ざした奉仕を続けてまいります。



ガバナー公式訪問例会報告

小樽南ロータリークラブ　9/11（金）



第2510地区古野重幸ガバナーをお迎えし、9月11日、ガバナー公式訪問が行われました。

当日は、ガバナーをはじめ、本多宏行ガバナー補佐にもご出席いただき、終始和やかな雰囲気の中で、充実した例会となりました。

例会に先立ち行われた会長・幹事懇談会では、自己紹介から始まり、クラブの現状や今後の活動について意見交換が行われ、ガバナーからは地区の方針やロータリー活動に対する貴重なご助言をいただきました。

例会では、ガバナーより、青少年交換留学生としてロータリークラブとの出会い、その後はロータリアンとして、そして今はガバナーとして続いているロータリーライフを語っていただきました。また、今年度の地区運営方針や重点活動について、分かりやすく、そして熱意あふれるお話をいただきました。ガバナーが大切にしている「あなたこそがロータリーである」という言葉が印象的でした。

会員一同、あらためてロータリー活動の意義を考えるとともに、小樽南RCらしい活動をこれからも大切にしていこうとの思いを新たにしたところです。

ご多用の中、小樽までお越しいただき、貴重な時間を共有いただいたこと、ガバナーならびに地区役員の皆様に心より感謝申し上げます。

今回の公式訪問を一つの機会として、会員同士の結束をさらに深め、今年度の活動をより一層充実させてまいります。

蘭越ロータリークラブ　9/14（月）



9月14日、古野重幸ガバナー公式訪問が第6グループ蘭越RCにて開催されました。

11時30分より古野ガバナー、本多宏行第6グループガバナー補佐、白石勇会長、山田一晴幹事、志比川武会長エレクトが参加して会長・幹事懇談会が行われ、会長より当クラブの概要が報告されました。

次いで幹事より事業報告と今後の予定事業の説明が行われました。その中で古野ガバナーは、毎年6月に開催されている「尻別川クリーン作戦」に興味をもたれ、志比川会長エレクトから熱心に話を聴かれておりました。

12時から今年度第7回通算2,665回の例会が開催されました。

古野ガバナーより「ロータリー行動計画・循環計画」のお話があり、その後は蘭越RCクラブの現状（少人数であるがために困っていること、逆に優ること）などを、ざっくばらんに座談会形式で話し合いました。たいへん気さくで話しやすい古野ガバナーにすっかり時間が経つのを忘れ、気が付けば集合写真の撮影を忘れていました。会場玄関前での一枚は幹事の失態からです。

ガバナー公式訪問例会報告

小樽ロータリークラブ　9/15(火)



9月15日、国際ロータリー第2510地区第６グループ、ガバナー公式訪問例会に先立ち、11時30分より古野重幸ガバナー、向山松秀地区幹事、本多宏行ガバナー補佐をお迎えし「会長・幹事・会長エレクト懇談会」を行いました。

自己紹介からはじめ、クラブの現状報告、クラブの取り組みと成果、クラブの課題、地区への要望について懇談させていただきました。

例会は12時30分から開始、12時50分から本多ガバナー補佐より古野ガバナーの紹介を頂き約30分、古野ガバナーから、以下のようなお話を頂きました。

「Enter to Learn, Go forth Serve」という言葉は、日本語で「入りて学び、出でて奉仕せよ」という意味で、この言葉ほどロータリーの本質を端的に表しているものはない。ロータリーの原点に戻るという意味でも「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉を、心に刻む必要がある。

1.クラブ運営の負担を軽くする

新しいスローガンや方針を大きく打ち出さず玉井清治パストガバナーが掲げた方針を引き継ぐこととし、継続性を重視している。そのうえで、一年間で取り組みたいことが二つある。

一つ目は、ＤＸやＡＩを活用して、クラブ運営の負担を減らすこと。　会長、幹事、事務局の皆さんが少しでも楽になり、活動そのものに時間を使えるようにすることが目的。

二つ目は、例会プログラムを支援すること。　充実した例会、楽しい例会はクラブの活性化につながる。例会が面白ければ参加意欲も高まり、退会防止にもつながる。

2.時間と費用に見合った地区運営を

地区運営で重視しているのは、タイムパフォーマンスとコストパフォーマンス。

3.クラブ会員の負担を増やさない

今年度はまだ始まったばかりで、古野ガバナーからの色々なお話しや考え方などを、魅力あるクラブ運営、出席したくなる例会運営のヒントにしていければと思っています。

機会があればもう一度古野ガバナーにお話を頂きたいと思っております。お越しいただいた、古野ガバナーをはじめ、地区幹事、ガバナー補佐の皆様に心より感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌モーニングロータリークラブ　9/15(火)



9月15日18時より松崎ビル2階にて、古野重幸ガバナー、露木茂第４グループガバナー補佐をお迎えし、会長・幹事懇談会を開催いたしました。当クラブからは武田司会長、若松孝幹事、小川正人会長エレクト、齋藤貴之副幹事が出席し、クラブの現況や今後について、和やかな雰囲気の中で率直な意見交換をさせていただきました。

翌16日、午前7時30分からはガバナー公式訪問例会を開催し、古野ガバナーには当クラブ恒例のラジオ体操からご一緒いただきました。札幌の清々しい朝の空気の中、会員とともに体を動かしていただいたひとときは、札幌モーニングRCらしい、心温まる時間となりました。

ご講話では、ロータリーの根幹にある「利他」の精神、人のために行動することの尊さについて、お父様との思い出をはじめ、さまざまな実例を交えてお話しいただきました。ご自身の歩みに裏打ちされた温かいお言葉は深く心に響き、ロータリアンとしての原点をあらためて見つめ直す、大変有意義な機会となりました。

古野ガバナー、露木ガバナー補佐には、ご多用の中ご来訪いただき、心より御礼申し上げます。

札幌東ロータリークラブ　9/17(木)



ガバナー公式訪問として、古野重幸ガバナー、齋藤康嗣ガバナー補佐、藤門雅史地区幹事をお迎えいたしました。当クラブは昭和34年2月19日に設立し、同年3月14日に承認された歴史と伝統のあるクラブです。

今年度は40代から90代までの会員94名でスタートしました。会員構成は50歳から70歳代の会員が81.9%を占めています。当クラブの特色として過去100名以上の青少年交換留学生の受け入れを実施しており、他地区と比較しても突出した実績を誇っています。今年度も約７年振りにアメリカからの青少年交換留学生を受け入れました。その他、北海高等学校インターアクトクラブの提唱やガバナー特別表彰を受けている社会奉仕活動等を行っています。

例会では、玉井清治パストガバナーの方針を基本的に引き継ぐとともに、PETSと地区研修・協議会を合同で開催したことや公式訪問時のクラブアッセンブリー（協議会）の廃止等、地区運営の効率化を意識した進め方についてお話をいただきました。大変有意義なガバナー公式訪問となり、会員一同感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌幌南ロータリークラブ　9/18(金)



9月18日、古野重幸ガバナーと齋藤康嗣第5グループガバナー補佐をお迎えし、会長・幹事懇談会を開催いたしました。齋藤ガバナー補佐の進行のもと懇談会が始まり、当クラブの活動状況について報告を行いました。

クラブ概要としては、近年女性会員の入会が増えていること、そして30代から80代まで幅広い年代が在籍している点を中心に説明しました。多様な世代・バックグラウンドの会員が協力しながら活動していることが当クラブの強みであることをお伝えしました。

地域に根ざした事業として、親子暗唱大会や、なんでも相談会を紹介しました。さらに、最近では例会プログラムの企画として「行列のできる相談シリーズ」が名物企画となりつつあり、会員の専門知識の深さといつもとは違うプロフェッショナルな一面を垣間見ることが出来る企画についてご紹介しました。

懇談会後の例会では、古野ガバナーより卓話をしていただきました。ガバナーご自身がロータリーの青少年交換留学生としてオーストラリアに留学した際の経験を中心に、異文化の中で得た学びや人との出会いがロータリーの理念とどのように結びついているかを語られました。国際交流が若い世代にもたらす価値や、ロータリーが提供する機会の意義について、具体的なエピソードを交えた大変興味深い内容でした。

最後に古野ガバナーからは、当クラブが地域に密着した活動を継続している点や、特色ある事業を大切にしている点について温かい励ましのお言葉をいただきました。和やかな雰囲気の中、公式訪問は滞りなく終了いたしました。



ガバナー公式訪問例会報告

札幌西ロータリークラブ　9/29（火）



9月29日、札幌プリンスホテルにおいて、ガバナー公式訪問が開催されました。当クラブは会員数40名で構成されており、音楽活動やピンクリボン運動などを中心に、地域に根ざした活動を行っています。

古野重幸ガバナーからは、ロータリーの理念である「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」この言葉の通り、職業奉仕はロータリーの原点であり、日本のロータリーの鍵につながるものであるとのお話をいただきました。

また、「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉について。ロータリークラブに入会して学び、友情を深め、その学びを活かして社会に出て奉仕することこそ、ロータリークラブの実践であるとご教示いただきました。

「ロータリーを知り、参画し、楽しもう。そして、与えることに喜びを見いだしてほしい」
この言葉には、ガバナーの思いが込められていました。

今回のガバナー公式訪問で示された方針を、今後のクラブ運営にしっかりと活かし、会員一人ひとりが学び、参加し、奉仕する喜びを感じられるクラブづくりに努めてまいります。

札幌西北ロータリークラブ　10/1（木）



10月1日、RI第2510地区古野重幸ガバナーと露木茂第4グループガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催いたしました。午前11時30分からの会長・幹事懇談会では、当クラブの現状や今後の活動について意見交換を行いました。

続く例会では、古野ガバナーより、ご自身のロータリー交換留学での経験や、職業奉仕の大切さについてお話しいただきました。また、「ロータリーは知れば知るほど、交流すればするほど楽しくなる」とのお言葉とともに、本年度のメッセージ「Discover your joy in Rotary」に込められた「与えることの中に喜びを見出す」というロータリーの真髄について、心に残る卓話を賜りました。

今回の公式訪問を通じて、会員一同が改めてロータリーの魅力と奉仕の意義を再認識する貴重な機会となりました。古野ガバナーの温かいお言葉を胸に、当クラブも会員同士の親睦を深め、楽しみながら奉仕活動に取り組んでまいります。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌ライラックロータリークラブ　10/2(金)



このたび、ガバナーおよびガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。当クラブでは、少人数クラブの特色を活かし、座談会形式で懇談の時間を設けました。冒頭ではガバナー、ガバナー補佐、そして会員一人ひとりが自己紹介を行い、それぞれの職業や活動内容、ロータリーへの思いを共有することができました。終始和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、非常に有意義な時間となりました。

さまざまなお話をうかがうなかで、特に印象に残ったのは、各クラブで卓話のできる会員や講師の情報を共有し、クラブ間で卓話を提供し合うことで例会運営をより充実させていく提案でした。例会プログラムの充実と、クラブ同士の交流を深める取り組みとして大変参考になりました。

今回いただいたご助言を今後のクラブ運営に活かし、会員同士のつながりを大切にしながら、より魅力ある例会づくりに努めてまいります。

札幌手稲ロータリークラブ　10/3(土)



第2620回例会(10月3日)にて古野重幸ガバナー、露木茂ガバナー補佐、松下直樹地区副代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち、会長・幹事懇談会が露木ガバナー補佐の進行で行われ、当クラブの現状や活動について共有しました。

例会では、いままで慣例となっていた「クラブアッセンブリー」ではなく、通常例会と何ひとつ変わることなく進行しました。

主要プログラムである古野ガバナーの卓話では、2026-2027年度の地区大会が迫っていたこともあり、大会のメインテーマ「平和構築」を掲げ、平和活動家のサヘル・ローズさんをお迎えしての基調講演を通じて、ロータリアンが平和のために何ができるか、新しい気づきを得る場となることから、多くの参加の呼びかけがありました。

通常例会と同じ時間配分での卓話であり、限られた時間ではありましたが、

①自己紹介とロータリーへの恩返し
②ロータリーの原点「職業奉仕」への回帰
③退会防止のための取り組み
④ロータリーの運営の効率化とトヨタ式の「カイゼン」
⑤ロータリーを楽しむための3段階活用と例会での国家(君が代)斉唱の歴史的背景
⑥「コップの水」を大きくするための広域交流
⑦生成AIが導いた真髄と「プロフィット」の真意 ～ 矛盾のないロータリーの真髄とは

など様々な角度から分かりやすい講話を頂き、ありがとうございました。当クラブの更なる発展に繋げるべく、大変貴重な機会となりました。

ガバナー公式訪問例会報告

函館セントラルロータリークラブ　10/6（火）



10月6日、古野重幸ガバナー、第10グループ担当嶋崎修一ガバナー補佐、向山松秀地区幹事を函館国際ホテルにお迎えして、公式訪問が行われました。

スケジュールは11:30から会長・幹事懇談会、12:30から第969回例会でした。

会長・幹事懇談会では、古野ガバナーは地区に関する現状と活動をお話下さいました。クラブの活性化につながる例会卓話の充実のために、卓話者を紹介する取り組みを行っているので活用していただきたい、という説明を受けました。

嶋崎ガバナー補佐からは、会員増強に悩んでいるクラブ向けに、他クラブで実践している会員増強の取り組み例を紹介下さいました。

第969回例会では、古野ガバナーより当クラブに対し、ロータリーの良き伝統を継続し、取り組んでいる奉仕活動に対する評価をいただきました。

また、例会場内に立て掛けているスタンドパネルの「入りて学び、出でて奉仕せよ」についてのご説明ほか、ロータリーバッジ、テーマバッジ、ポリオバッジについてもお話をいただきました。

短い時間でありましたが、会長・幹事懇談会や例会でのお話を肝に銘じ、引き続き奉仕活動を推進していくことで気持ちを新たにいたしました。

公式訪問、誠にありがとうございました。

新札幌ロータリークラブ　10/7（水）



第1874回 例会にて古野重幸ガバナー、齋藤康嗣ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を行いました。

ロータリーの原点とは何か、胸に刺さる名言の数々「Enter to learn,go forth to serve」（入りて学び、出でて奉仕せよ）、「Discover your joy in Rotary」（ロータリー活動の中にやりがいと喜びを見つけよう）、「One profits most who serves best」(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)等々、古野ガバナーから熱のこもった熱い熱い卓話をいただきました。コップの水の話を引き合いに、ロータリーを長く続けるには心の中のコップを大きくする必要があるというお話をいただき、卓話を聞いた会員の心の中のコップは確実に大きくなりました。

同日に新会員の李 愛理（リ・アイリ）さんを迎え、入会式も開催でき、ホテルエミシアさん自慢の和食膳もご堪能いただき、ガバナー公式訪問に花を添えました。

ガバナー公式訪問例会報告

砂川ロータリークラブ　10/14(水)



10月14日水曜日、古野重幸ガバナーをお迎えし、公式訪問例会を開催いたしました。

今回の公式訪問では、例年行われていたクラブ協議会を実施せず、会長・幹事懇談会を行い、その後に例会という構成になりました。各委員会の方針や事業内容は会長・幹事に確認すれば把握できるとのお考えからであり、前例にとらわれず、活動の必要性や意義を見つめ直す姿勢が印象的でした。

例会での講話では、ロータリー活動の基礎には「職業奉仕」があり、その土台の上に社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕が成り立っているとのお話をいただきました。基礎が揺らげば活動全体がぐらつくという言葉に、奉仕の原点を改めて考えさせられました。

また、地区大会で講演されたサヘル・ローズ氏の「主語を大きくせず、半径3mの人を幸せにする」という考え方や、茂木健一郎氏の「自分らしく生きること」の大切さにも触れられました。そして、地区スローガン「Discover your joy in Rotary」には、真剣に活動に取り組む中でこそ楽しさや喜びを見いだせる、という意味が込められているのだと、理解を深めることができました。

さらに、今回の例会では、砂川市を代表する洋画家であり、作品が『ロータリーの友』の表紙を飾った鉾井直作会員へのガバナー特別表彰も行われました。地区大会の表彰式には出席できませんでしたが、古野ガバナーから直接記念の盾が授与され、会員一同、大変喜ばしいひとときとなりました。

今回の公式訪問を通じて得た学びを今後の活動に活かしてまいります。古野ガバナーならびに地区役員の皆様に心より感謝申し上げます。



古野ガバナーから特別表彰を受ける鉾井会員(左)

ガバナー公式訪問例会報告

芦別ロータリークラブ　10/15(木)



古野重幸ガバナー・宮崎英彰ガバナー補佐・武部幸紀地区代表幹事をお迎えして、10月15日、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前に会長・幹事懇談会が行われましたが、古野ガバナーの親しみやすい気さくなお人柄と、進行内容も形式や過去の慣例にとらわれず、自由な意見交換のなか、貴重なアドバイスをいただきました。有意義な時間を過ごすことができたと思います。

例会では、ガバナーが「ロータリーの交換留学生としてオーストラリアで1年間過ごしたことがロータリーと出会うきっかけとなり、その後の人生に大きな影響を与えた」とのお話がありました。

また、ロータリークラブへの不満や疑問を「コップの中の水位が上がること」に例え、それには「過去の慣例に縛られずフレッシュな意見を取り入れ、ルールを簡素化すること」「年代を超えて自身の個性や相手の個性を受け入れ、次世代を育成すること」の大切さ。「ロータリーから何を得られるかではなく、自分は何を与えられるか」を考えること。そして、地区大会でのサヘル・ローズさんの講演を通して、「命と平和の大切さ」、自身が生活している地域で「誰かの役に立てる喜び」「どんな奉仕ができるのか」を改めて考えることの重要性が述べられました。

最後に、例会の慢性化を防ぐために、「地区の様々な分野の専門家の出張卓話リストを活用してほしい」とのお話があり、会員一同心に暖かい思いを残し例会を終了しました。

貴重なお話を今後の活動の糧とし、まさに「楽しくなければロータリーではない」を胸に、会員一同奉仕活動に励んでまいります。どうもありがとうございました。



地区ポリオプラス委員会
札幌の夜空に灯した「ポリオ根絶」への誓いと地区の結束
――世界ポリオデー特別ライトアップ&街頭PR

国際ロータリーが定めた10月24日の「世界ポリオデー」に併せ、当地区ポリオプラス委員会では、同日夕刻より「さっぽろテレビ塔」および「札幌市時計台」の特別赤色ライトアップと街頭PR事業を執り行いました。本事業の実現に向け、事前に株式会社さっぽろテレビ塔様および札幌市時計台の館長様へ直接ご依頼と熱意あるご調整を重ねさせていただき、札幌の象徴である2大建造物の同時赤色点灯が叶うこととなりました。

当日は、地区内各クラブより多数のロータリアンをはじめ、ロータリー米山記念奨学生やローターアクト会員の若い世代まで、約40名が現地に集結しました。カウントダウンとともに18時ジャスト、鮮やかな赤色が点灯すると、周囲は温かな感動と熱気に包まれました。

点灯直後には取材に訪れたマスコミ各社に対し、ロータリーが40年間取り組んできたポリオ根絶の歩み（症例数99.9%削減）と最終支援の重要性をアピール。その後、参加者全員で徒歩にて札幌市時計台へ移動し、記念撮影会やグループスナップを通じて、世代を超えた深い交流と強い結束を確認しました。

今回の事業を通じて、ロータリーのコア・ミッションである「ポリオのない世界」の実現に向けた強い存在感を地域社会へ広く発信することができました。多大なるご支援を賜りました古野重幸ガバナー、出村知佳子パストガバナーに深く感謝申し上げるとともに、快くご協力いただきましたさっぽろテレビ塔様、札幌市時計台様、温かいご協力をいただいた地区内クラブの皆様、そして報道関係の皆様に心より御礼申し上げます。あと一歩となったポリオ根絶の完遂に向け、引き続き皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

（地区ポリオプラス委員会 委員長 丹羽 祐勝）



赤く点灯したさっぽろテレビ塔を前に、
第2510地区がポリオ根絶をアピール

RLI委員会　報告
RLIセミナー パートⅠを開催しました（函館・札幌）

2026-2027年度RLI（ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート）のセミナーがスタートしました。RLIセミナーは、1年間にパートⅠ～Ⅲと卒後コースの合計4回が開催され、8年目となる今年度はパートⅠを9月27日に函館（会場は道新函館支社内道新文化センター）、10月25日に札幌（同札幌大学）で開催しました。パートⅠを2か所で開催するのは初めてのことです。参加者は函館9名（内欠席1名）、札幌31人（内欠席7人）となりました。

RLIはファシリテーション方式で進めるセミナーで、講師が教えたり説明したりするのではなく、参加者同士の話し合いを通して気づきを得て知識や意欲を深めていきます。話し合いの進行・案内役（ファシリテーター）は過去にRLIセミナーに参加した有志約30人が研鑽を重ねて務めています。

函館では福井敬悟地区代表委員、玉井清治パストガバナー、札幌では古野重幸ガバナーと齋藤茂生ガバナーエレクトの参加をいただきました。パートⅠでは朝から夕方までの時間帯で「ロータリーにおけるリーダーシップ」「私のロータリーの世界」「倫理と職業奉仕」「財団」「会員の参加を促す」「奉仕プロジェクトを創造する」という6つのテーマで話し合いを進めました。ロータリークラブのリーダーシップのあり方を考えたり、他クラブの奉仕活動から自クラブに生かせそうなヒントをもらったり、財団への寄付の集め方もクラブによって違ったり。参加者がそれぞれ有益な情報交換ができました。

RLIセミナーは2月28日にパートⅡ、4月18日にパートⅢ（いずれもZOOM）と続き、5月29日の卒後コース（リアル開催）で修了となります。パートⅡからの受講を希望する場合は、RLI委員会（rotary2510rlinew@gmail.com）までお問合せください。



初めて函館で開催されたRLIセミナー。
パートⅠを修了した方たちとRLI委員会のメンバー



札幌会場では4人とファシリテーターの
少人数グループで進めました



古野ガバナーから熱いエールをいただいた開会式（札幌会場）

米山記念奨学・学友委員会　報告
米山記念奨学生の研修旅行　深川と滝川で実施

9月11日（土）、ロータリー米山記念奨学生研修旅行を実施しました。

米山奨学生の奨学期間は原則1年（又は2年）で、長期間に感じられますが、米山奨学生が一同に会する機会は原則的に1年に3回しかありません。4月のオリエンテーション、3月の修了式、そしてこの研修旅行です。奨学生、カウンセラーといった関係者が一堂に会し、親睦を深めることのできる希少な機会の一つが研修会なのです。

今年の参加者は奨学生13名、カウンセラーほかロータリー関係者12名。深川市の「深川郷土資料館」、滝川市の「そらぷちギッズキャンプ」の2箇所を見学しました。

深川郷土資料館には、空知地域における縄文時代、続縄文時代から現代の明治初期にいたるまでの様々な土器等の出土物のほか、明治期の北海道開拓時代の生活用具、農業等の産業用具も数多く展示されています。見学し、説明を受けることにより、北海道について広く理解を深めることができます。北海道の歴史、風土、北海道の民族・先住民族の歴史変遷は、決して一様な態様ではありません。奨学生たちが、民族の歴史的多様性を実感し、それらが現在に至っていることを肌で感じることで、北海道と日本の一面の理解の一助となることを期待して選んだ見学先でした。

そらぷちキッズキャンプは、米国の著名な映画俳優（故人）が創設した難病の子供と家族のための医療ケア付きキャンプの世界的ネットワーク（シリアスファン）の一環として創設された、アジア地域初の、そして現在唯一の公認キャンプ場です。私達が訪問した時期は本来、一般者への公開見学を実施していないのですが、所在地の滝川RC、その他のロータリークラブ関係者が施設への寄付支援者であり、また、米山奨学生の施設見学は公共的・公益的意義を有しうるという見地から、特別の許可を得て見学することが叶いました。

施設の見学を通じて難病を患う子とその親族たちの困難がいかに大きいものか、それに対するケア・支援がとても重要で繊細な配慮が必要であるかを実感してもらうのが、見学の目的でした。クマ対策として、敷地内各所にラジオ音声が流されている中での野外見学でした。

二つの施設の見学が、奨学生の日本理解、相互親善への一助となることを願ってやみません。

（地区米山記念奨学・学友委員会委員長　三浦信一　札幌清田RC）



国際ロータリー第2510地区

米山奨学生紹介



韓国から日本へ ― 獣医師を目指して

李昭弦（イ ソヒョン）

韓国
酪農学園大学
岩見沢ロータリークラブ

はじめまして。韓国出身で、現在は酪農学園大学獣医学類に在籍しております李昭弦と申します。岩見沢ロータリークラブの奨学生としてご支援をいただきながら、日々学業に励んでおります。

私は幼少期に約7年間、日本で生活した経験があります。その頃から日本の文化や礼儀を重んじる価値観、人とのつながりを大切にする姿勢に魅力を感じていました。その後、韓国へ帰国しましたが、日本で学びたいという思いから、大学進学を機に再び来日しました。

幼い頃から犬や亀などの動物と共に暮らし、動物と過ごす喜びだけでなく、病気や別れのつらさも経験してきました。その経験から、動物の命を支え、飼い主様にも安心を届けられる獣医師を目指すようになりました。

現在は大学で獣医学を学ぶとともに、研究室では、牛に感染する寄生虫の研究に取り組んでいます。研究活動を通して、論理的に考える力や課題に粘り強く取り組む姿勢を身につけました。また、臨床実習では観察力やコミュニケーションの重要性を学んでいます。

さらに、アメリカでの研修やロータリークラブでの活動を通して、多様な文化や価値観に触れる機会を得ました。こうした経験から、相手の立場に立って考えることや、人との信頼関係を築くことの大切さを学びました。

将来は、動物と飼い主様の双方に寄り添える獣医師として地域社会に貢献するとともに、日本と韓国をつなぐ架け橋としても活躍したいと考えています。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌南RC	朝妻	史江	会員	（ 1回）	9月24日
札幌南RC	松山	明史	会員	（ 1回）	9月24日
札幌南RC	齋藤	友子	会員	（ 3回）	9月24日
札幌南RC	田尾	大樹	会員	（ 4回）	9月24日
札幌南RC	今井	國雄	会員	（ 9回）	9月24日
函館RC	久保	俊幸	会員	（10回）	9月24日

米山功労クラブ

札幌南RC	第57回	9月24日
函館RC	第16回	9月24日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

美唄RC	大坪	誠治	会員	9月30日

令和8年熊本地震　義捐金報告

地区内各クラブに協力をお願いしました熊本地震（2026年7月28日発生）への義捐金について、直接振り込みされたクラブを除く、下記54クラブおよび1グループから総額4,333,140円を頂戴しました。

災害地域を管轄する第2720地区の義捐金口座に振込みをしましたので、報告します。皆様の温かいご支援ありがとうございました。

<募金くださったクラブ・グループ>

深川RC、羽幌RC、留萌RC、赤平RC、芦別RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、栗沢RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽南RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、長沼RC、えりもRC、三石RC、静内RC、浦河RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、北斗RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC、第８グループ

文庫通信

ロータリー文庫が収集・整備しているロータリー関連の歴史的文献、国際ロータリー（RI）の最新の規約・章典の改正情報、講演録、会員研修資料などを紹介します。



文庫通信　398 号：過去に学び未来を探る

「ロータリアン必携 来し方行く末 過去に学び未来を探る」塚原房樹/編纂委員会/2022/407P

「和敬静寂 思いやりの心」細谷伸夫/2026/266P

「会長代理挨拶」若林英博/（D.2590 地区大会）/2025/4P

「戦後 80 年特別シンポジウム「平和の未来を語る」：千玄室氏コメント抜粋」（D.2740 地区大会）/2024/2P

「原爆から生き残る（付：THE ROTARIAN 2018 年 1 月号掲載文）」
川妻二郎（東京米山友愛 RC 翻訳/THE ROTARIAN 2018 年 1 月号/2022/46P

「今、ロータリーを考える」刀根荘兵衛/（D.2600 地区大会）/2024/5P

「ロータリーの力」滝澤功治/（D.2680 地区大会）/2022/2P

「ロータリーって一体何だろう。その源流と行く末」　太田英章/（D.2670 地区大会）/2021/10P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013　東京都港区浜松町2丁目７番 16 号　第３小森谷ビル別館６階
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

新会員情報

千歳 RC



太田 憲之
令和8年9月24日
不動産賃貸業

苫小牧東 RC



長岡 英幸
令和8年10月1日
葬祭業

2029–2030年度　ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー　古野 重幸
地区ガバナー指名委員長　出村知佳子

2029-2030年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に、指定の書式にてご推薦ください。
（書式はガバナー事務所にお問い合わせください）
なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）
[参照]「2025年手続要欄」



2027年6月26日～30日　バルセロナ・スペイン

会場：Fira Barcelona Gran Via

登録料

	2026年9月22日～2027年3月31日	2027年4月1日～6月30日
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者（31歳以上）	US$795	US$895
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者（30歳以下）	US$350	US$400
5～18歳の同伴者	US$30	US$40
5歳未満の同伴者	無料	無料

RIバルセロナ国際大会 推進チーム

推進チームメンバー

出村 知佳子 | chikakodemura@gmail.com

日本チーム

第1地域　佐渡 正幸
RID2500・釧路北ロータリークラブ

第2地域　中川 雅雄
RID2580・東京浅草ロータリークラブ

第3地域　大橋 秀典
RID2660・東大阪東ロータリークラブ

大会登録・詳細 | https://convention.rotary.org/ja-jp/registration

TEAM JAPAN

2027 BARCELONA INTERNATIONAL CONVENTION

RI理事主催

JAPAN NIGHT



2027.6.26 SAT

場所 / VENUE：バルセロナ市内ホテル

時間 / TIME：夕刻

※詳しいご案内は2027年初旬を予定しています。
日程確保を宜しくお願い申し上げます。

2027バルセロナ国際大会
主な予定
TEAM Japan

6月26日（土）	• 受付 • 友愛の家（House of Friendship）開幕 • 歓迎行事 • 夕刻：Japan Night
6月27日（日）	• 開会セレモニー • 本会議 • 分科会 • 友愛の家 • 交流行事
6月28日（月）	• 本会議 • 分科会 • 各種関連イベント
6月29日（火）	• 本会議 • 分科会 • 各種関連イベント
6月30日（水）	• 最終本会議 • 閉会セレモニー

※時間はすべて現地時間です。
※主な予定は参考であり、詳細は、速やかにご連絡いたします。

会員数・例会回数報告　9月会員増減数

クラブ数	65
期首会員数	2,225人
当月末会員数(女性)	2,286人(199人)
増加会員数	61人

グループ	クラブ名	例会数	会員数 2026.7.1	2026.9.30	増減	内女性
1	深川	3	26	27	1	2
	羽幌	3	30	31	1	2
	留萌	2	22	22	0	4
	小計		78	80	2	8
2	赤平	3	17	18	1	3
	芦別	2	27	27	0	1
	砂川	3	43	44	1	2
	滝川	3	78	79	1	8
	小計		165	168	3	14
3	美唄	3	20	20	0	2
	江別	3	32	35	3	3
	江別西	4	29	29	0	1
	岩見沢	3	94	94	0	3
	栗沢	3	13	13	0	0
	栗山	3	20	22	2	4
	当別	4	28	29	1	3
	小計		236	242	6	16
4	札幌	4	110	132	22	3
	札幌はまなす	4	27	28	1	3
	札幌北	3	34	34	0	7
	札幌モーニング	4	34	34	0	0
	札幌西	4	41	40	-1	8
	札幌西北	2	45	45	0	7
	札幌手稲	2	27	27	0	3
	小計		318	340	22	31
5	札幌東	3	94	93	-1	2
	札幌清田	2	9	9	0	3
	札幌幌南	3	62	63	1	8
	札幌真駒内	3	17	17	0	4
	札幌南	3	78	80	2	5
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新札幌	3	21	24	3	6
	小計		305	310	5	32
6	岩内	3	33	33	0	1
	倶知安	2	32	32	0	3
	小樽	4	76	76	0	3
	小樽南	3	47	50	3	5
	蘭越	4	7	7	0	0
	余市	4	39	38	-1	4
	小計		234	236	2	16
7	千歳	3	69	76	7	9
	千歳セントラル	2	38	38	0	8
	恵庭	4	44	45	1	3
	北広島	4	17	17	0	3
	長沼	3	15	15	0	3
	小計		183	191	8	26
8	えりも	2	16	16	0	1
	三石	2	10	10	0	0
	様似	1	4	4	0	3
	静内	4	52	52	0	5
	浦河	3	21	21	0	3
	小計		103	103	0	12
9	伊達	3	49	50	1	2
	室蘭	2	27	29	2	3
	室蘭東	3	27	27	0	2
	室蘭北	3	44	44	0	1
	登別	4	31	31	0	2
	洞爺湖	2	9	9	0	0
	小計		187	190	3	10
10	函館	3	66	70	4	4
	函館亀田	3	27	29	2	3
	森	2	29	29	0	2
	七飯	3	13	13	0	0
	長万部	2	9	9	0	0
	函館セントラル	4	27	27	0	2
	小計		171	177	6	11
11	江差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	3	50	51	1	1
	函館東	4	33	32	-1	5
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		105	105	0	6
12	白老	3	32	32	0	4
	苫小牧	4	53	57	4	3
	苫小牧東	3	28	28	0	8
	苫小牧北	3	27	27	0	2
	小計		140	144	4	17
合計			2,225	2,286	61	199

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数19名(内女性会員1名)を含む
※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数23名(内女性会員5名)を含む
※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数5名(内女性会員0名)を含む

地区カレンダー（11月・12月）

11月　ロータリー財団月間	
1（日）	
2（月）	
3（火）	文化の日
4（水）	
5（木）	
6（金）	
7（土）	
8（日）	
9（月）	
10（火）	公式訪問（札幌はまなすRC、栗山RC）
11（水）	公式訪問（札幌RC）
12（木）	
13（金）	
14（土）	
15（日）	
16（月）	
17（火）	
18（水）	
19（木）	
20（金）	
21（土）	
22（日）	
23（月）	勤労感謝の日 青少年交換受入学生歓迎会・派遣学生帰国報告会
24（火）	
25（水）	
26（木）	
27（金）	
28（土）	
29（日）	Let`s Enjoy Cooking（札幌）
30（月）	
31（火）	

12月　疾病予防と治療月間	
1（火）	第2回ガバナーエレクトラーニングセミナー（大阪） ガバナーノミニーラーニングセミナー（大阪） 第3回ガバナー会（大阪）
2（水）	メジャードナー顕彰午餐会（大阪） ロータリー財団地域セミナー（大阪）
3（木）	第55回ロータリー研究会（大阪）
4（金）	
5（土）	
6（日）	
7（月）	
8（火）	
9（水）	
10（木）	
11（金）	
12（土）	次期ガバナー補佐会議（恵庭）
13（日）	2027学年度米山奨学生選考試験（札幌）
14（月）	
15（火）	
16（水）	
17（木）	
18（金）	
19（土）	
20（日）	
21（月）	
22（火）	
23（水）	
24（木）	
25（金）	
26（土）	
27（日）	
28（月）	
29（火）	
30（水）	
31（木）	

【表紙について】

北海道の花

ナナカマド（Sorbus commixta）

バラ科ナナカマド属の落葉高木。

日本各地の山地から亜高山帯に自生し、秋の鮮やかな紅葉と赤い果実で知られる。

燃えにくい材質をもつことから、「七度竈（かま）に入れても燃えない」という名がついたとされる。

街路樹や庭園樹としても親しまれる。

撮影と解説　大原　雅（札幌RC）